

平成28年度 第2回運営委員会議事録（メモ）

於：平成28年6月12日（日） 16:10～ 豊水会館・福まち会議室

○中村団長から

お疲れさまです。定期総会で定期演奏会の財源確保について基本的な考えについて承認頂いたが、具体的な実施内容について詰めたいと思うのでよろしく願います。

○団員現況について … 鈴木副団長

- ・ 団員数は、休団だった斉藤さん、水上さんが復帰で46名。休団者は2名減って8名。
- ・ 現在、ユーフォニアムが練習時にいつも居ない状況になっており、練習に支障もでてきている。ユーフォニアムは常に募集しているが、以前に見学希望があったが見学には見えていない方がいるので連絡を取っている。団員の知人・友人でユーフォをやられる方が居れば紹介して欲しい旨周知する。
- ・ ピッコロ／フルートが1名欠員になっている。必要であれば以前見学に来られた方に声を掛ける。

○定期演奏会・協賛金運用マニュアルについて（定期演奏会の財源確保関連）… 鈴木副団長

これまで運営委員会において定期演奏会の財源確保について議論を行い、いくつかの実現性のある施策を平成28年度の定期総会において提案し、具体施策は運営委員会において決定して実施することで承認された。

本年度、第23回定期演奏会からは「協賛金募集」について実施するため、「協賛金運用マニュアル」を作成して具体的に取り組むこととし、そのマニュアル案について運営委員会です承した。

今後の日程については、6/26練習日に団員説明、実行委員会説明を行い、直ちに実施することとした。

本マニュアルについては、本議事録末尾に付すので参照のこと。

また、総会時に「団の活動目的は定期演奏会の実施であり、そのための練習経費と定演実施の経費を分離するのはおかしいのではないかと。従って、団費の中に定演分のコストは含まれてしかるべきではないか。」との発言に対する団としての見解を運営委員会としてまとめたので、これについても本議事録末尾に付すので参照のこと。

○その他

※ライオンズクラブ・依頼演奏について

- ・ 実施日時 9月16日（金） 19:00 開演（演奏時間：30分程度）
- ・ 場所 ホテル「ニューオータニイン札幌」
- ・ 出演団員のホテル集合時間は、ウィークデーでもあるため 18:30（厳守）とする。

※コピー機の廃棄について

団で保有しているコピー機（シャープ SF-2530）は中古で購入した物であるが、練習場が変わってから置き場所が無く倉庫に置かれたままになっており、部品破損もあって今後の使用見込も無いため廃棄とする。

なお、廃棄には10,000円程度の経費（廃棄依頼費、運送費）が必要。

※元林団長から寄贈のクラリネット補修について

寄贈クラリネットについて点検したところ、バレル（俵）とマウスピースが無い。いつでも使えるようにしておくために、バレルは購入（10,000円程度）し、マウスピースは団員（クラリネット・パート）から寄贈して貰うこととする。

○次回運営委員会 平成28年8月28日（日：練習日） 16:10～ 豊水会館（会議室未定）

1. 目的

本マニュアルは、定期演奏会実行委員会が定期演奏会の円滑な実行を目的に募集する「協賛金」の具体的な運用を定めたものである。

2. 「協賛金」とは

「協賛金」とは、北海道シニア吹奏楽団（以下、単に「団」という。）の演奏活動にご理解いただいている法人又は個人が、団の重要イベントである定期演奏会の開催に賛同し、団に対して支援することを目的に拠出する金銭である資金をいう。

3. 協賛金の募集及び返礼等

(1) 募集の単位と返礼

- ① 協賛金の募集単位は「口」とし、一口を1,000円とする。
- ② 個人からの協賛金は一口以上とするが、企業・団体等、法人からの協賛金については、二口以上を目安とする。
- ③ 協賛金を拠出していただく方（法人を含み、以下、「協賛者」という。）に対する返礼は、口数に応じ、下表（標準）のとおりとするが、これによりがたい場合は、運営委員会の承認を得たうえで実行する。

口数	返礼の内容			備考
	礼状	協賛者の芳名をPGに掲載	招待券	
一口	(○)	○		一口への礼状は領収書で替える。
二口以上	○	○		PGへの掲載は自由意志。
五口以上	○	○	○	招待券は原則2枚まで。

(注) PG(プログラム)に掲載する協賛者の氏名等は、個人情報の取り扱いに留意し、必ず、確認を得ること。また掲載したPGは礼状等とともに、定期演奏会前に協賛者へ進呈すること。

(2) 募集対象と協賛金の受領

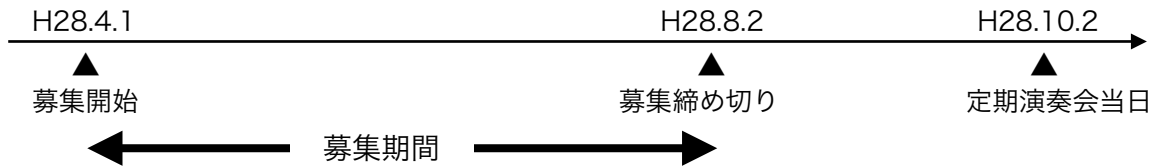
以下を対象として募集するが、具体的には、事務局と連携しながら対象を選定し、定期演奏会実行委員会が最終決定する。協賛金は、事務の煩雑化を考慮し、原則、現金による受領とし、必ず領収書を発行する。ただし、協賛者が遠隔地から送金する場合は、銀行振込又は現金書留による受領も可能とし、領収書も発行するが、銀行振込の場合は、協賛者の了解が得られれば省略できる。

募集対象	注意事項
団が関わっている外部の個人又は団体	広告の依頼があれば、それも可能とする。
団員が関わっている個人又は団体	広告の依頼があれば、それも可能とする。協賛依頼等の対応は当該団員が責任持って行う。
団の退団者 (OB・OG)	退団理由等を考慮しつつ、誤解を招かないよう事前対応に注意する。
団員本人	札幌市以外に居住しているなど、チケット販売が困難な環境にある団員に限る。

(3) 募集期間

- ① 募集期間は、原則、対象となる定期演奏会を開催する年度の4月1日から当該定期演奏会開催日の2ヶ月前に相当する日までとする。ただし、プログラムへの芳名掲載が間に合えば良いので、定期演奏会実行委員会において具体的な期間を決定して差し支えない。

<例> H28年10月2日に定期演奏会を開催する場合



- ② 万が一、募集期間外に支援の申し出等があった場合は、協賛の対象となる定期演奏会の時期を説明・確認のうえ受領し、返礼もれが生じないように、厳重に管理する。

4. 名簿管理

協賛者の名簿については、定期演奏会終了後までの間、個人情報保護にも配慮しながら、定期演奏会実行委員会が厳重に管理・運用することとし、定期演奏会終了後は、次期定期演奏会実行委員会へ確実に引き継がねばならない。

また、事務局とも名簿を共有し、例えば、節目の記念定期演奏会などの招待客選定に活用するなど、団の財産として、適正に管理していかなければならない。

5. 様式

(1) 依頼文書等

依頼対象となる個人又は法人への依頼文書並びに協賛者の意向確認は、別添様式1.並びに2.とする。なお、協賛者の意向確認書類は、名簿などの根拠資料となるので、紛失などのないよう、慎重に扱う。また、協賛に対するお礼も兼ねた領収書は、別添様式3.のとおりとするが、様式1.~3.の様式は、依頼相手に応じて、適宜、変更して差し支えない。

(2) 名簿

名簿の様式は別添様式4.のとおりとする。なお、引き継ぎなどの継続性を考慮し、みだりに様式の項目を変更することがないように、注意する。

6. 事務

協賛金の募集・受領・名簿管理・プログラム掲載・返礼などの一連の事務は、協賛金の対象となる定期演奏会の実行委員会が行う。

ただし、協賛者の多くが団員以外であることから、団長をはじめ、事務局等との連携を密にし、トラブルを引き起こして信用を失墜するようなことのないよう、細心の注意を払うこと。

以上

様式1（協賛依頼文ひな形）

各位

北海道シニア吹奏楽団
第〇回定期演奏会実行委員会
委員長 ○ ○ ○ ○

第〇回定期演奏会開催への協賛金のお願い（依頼）

拝啓 ○〇の候、皆様におかれましてはますます（ご清栄/ご健勝）のこととお慶び申し上げます。
平素より、北海道シニア吹奏楽団の活動につきまして多大なるご理解をいただき、暑く御礼申し上げます。

さて、北海道シニア吹奏楽団は、来る平成〇年〇月〇日、第〇回定期演奏会を開催することになりました。
当団の定期演奏会は、日頃の練習成果をご披露申し上げるとともに、ご来場のお客様にも大いにお楽しみ
いただくための工夫を凝らしながら開催しており、毎年会場にいらっしゃる常連のお客様も数多くなって
きております。

当団の発足時からの「音楽を通じて地域に貢献する」という思いが結実しつつあると感じますが、これも
ひとえに皆様方のご理解・ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、諸事多難な折、まことに恐縮ではございますが、上記定期演奏会の趣旨をご理解いただき、
ご協賛を賜りたく、ここにお願い申し上げます。

なお、協賛の内容につきましては、下記のとおりとさせていただきますので、なにとぞよろしくお願い申
し上げます。

敬具

記

協賛金額 一口 1,000円 （法人の場合は二口からとします。）
募集期間 平成〇年〇月〇日（〇）まで
納入方法 現金又は銀行振込等（銀行振込の場合は、下記へ振込願います。）
○○銀行 ○○支店 普通 1234567
問い合わせ先 北海道シニア吹奏楽団 第〇回定期演奏会実行委員会
電話 ○〇-〇〇-〇〇〇〇 Mail abcd@efg.com
その他 銀行振込の場合は、領収書を省略させていただくことがあります。
協賛いただいた場合は、定期演奏会プログラムにご芳名を掲載させていただきますが、支
障がございます場合は、上記にご連絡いただきたく、よろしく願いいたします。

以上

様式2（協賛の意向確認）

北海道シニア吹奏楽団あて

私（我が社/当団体）は、北海道シニア吹奏楽団が開催する「第〇回定期演奏会」の開催主旨に賛同し、以下のとおり、協賛金をお支払いいたします。

金 _____ 円（ただし 口分）

<※いずれか〇印を付してください。>

協賛金の支払い方法（現金、銀行振込、現金書留）
プログラムへの芳名掲載希望（有、無）

住所（所在地） 〇〇市 〇〇区 〇〇〇〇〇〇

氏名（法人名） 〇〇〇 〇〇〇

電話 〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

領 収 書

この度は、北海道シニア吹奏楽団の第〇回定期演奏会にご協賛いただき、まことにありがとうございました。

今後とも、ご支援かた、よろしくお願いいたします。

下記、金額を協賛金として受領いたしました。

金. _____ 円
(ただし、 口分)

平成〇年〇月〇日

〒123-456 札幌市〇区〇〇〇〇〇〇
北海道シニア吹奏楽団
第〇回定期演奏会実行委員会
委員長 ○ ○ ○ ○ 印

北海道シニア吹奏楽団H28年度総会（H28年5月22日）における団員からの発言に対する団の見解は以下のとおりです。

発言内容	先発言内容に対する見解
<p>一般会計と定演会計を分けるのは、会計上のみで分けるのは差し支えないが、練習だけ出ていれば良いといった間違いを起こさないためにも、普段の練習活動と定演とを分離して考えるのはおかしい。</p>	<p>定演の会計を分けているのは、規約第10条2により、「行事に必要な財源はその行事から得る事業収入によって賄うことが基本である」ため、その行事（定演）の収支を明確にして検証する必要があるからです。</p> <p>一方、演奏活動については、シニアの目的が、規約第2条により、演奏活動を通じて地域文化の発展に寄与することであり、練習と演奏会は、その目的を達成するための一連の活動であり手段であると捉えていることから、双方を分離するなどという考え方は全く存在しません。</p> <p>なお、団員が、会計が分かれていることを理由に、練習だけ出て定演には出ない行動を起こすという論理は、現実的にも、極めて考えにくいと判断します。</p>
<p>そもそもプロの演奏会でさえ赤字なのに、定演収支トントン前提とすること自体が不可能である。</p>	<p>22回定演の決算を例にあげれば、12万円程度の赤字を解消すれば収支相償が可能なので、今後、仮に収入が一定だとしても、経費面で、エキストラや司会、受付、楽器搬入経費などを団員やボランティアで賄い、事務経費の効率化などを実行すれば、定演の収支相償は実現すると考えます。</p> <p>しかし、現時点においては、収支相償を目標にしつつも、定演実行委員会の企画内容を尊重し、充実した演奏会運営を目指す結果として赤字が生じる場合があるため、その時は、規約に則り、団費からの繰入（赤字補てん）を総会で予算承認していただくことにしているのが実情です、</p>
<p>それゆえ、団費の中には、（定演出演を前提とした）定演分のコストが含まれているのが自然で、その分で定演の費用の一部を賄うべきであり、定演の経費を気にするなら、団費の一部を定演に充当する部分に上限を設けるなど、コントロールすれば良い。</p>	<p>総会で明らかにしたとおり、現在の仕組みにおいても、規約に基づき、定演の赤字分を団費から補てんしているの実態です。</p> <p>定演への補てん額（繰入額）は、総会に付議して承認された予算の範囲内としており、費用分析も含め、十分にコントロールされています。</p> <p>このコントロールを可能にしているのが、定演の経理を区分して補てん額を明らかにしている現在の仕組みであることは、容易に理解できると思います。</p>
<p>団費の支出では会場費など人数に係わらず固定費用が多く、団員が多いと1人当たりの負担率が下がるし、定期演奏会のチケット配布数も増えるなど、メリットを考えると、団の定員を増やした方が良い。</p>	<p>現在の定員59名は、定演会場の「かでの2・7」のステージ上に乗ることが出来る最大人数にセットしてあり、定演会場をより大きな施設に移すことを前提にしない限り、定員増にすることは困難です。</p> <p>なお、「かでの」を利用する理由は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「かでの」は、他の施設と異なり2年先の予約が可能で、希望の日を指定できる。 ●仮に、他の施設に変更すれば1年先を抽選することになり、開催時期が不安定で、団員の中には参加が難しくなる者も発生する。 <p>定演のチケット配布増については、「かでの」の座席稼働率がすでに80%に達しており、これ以上チケットを売ってお客様を呼んでも座る席が無いなど、トラブルとなる可能性が大きいため、困難と考えます。</p> <p>そのゆえ、今回、チケット収入に依存しない「広告収入の充実」と「協賛金」を具体化し、財源を確保することにしたものです。</p>